

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3820100号
(P3820100)

(45) 発行日 平成18年9月13日(2006.9.13)

(24) 登録日 平成18年6月23日(2006.6.23)

(51) Int. Cl.	F I
A 6 1 F 13/49 (2006.01)	A 4 1 B 13/02 T
A 6 1 F 13/15 (2006.01)	A 4 1 B 13/02 G
A 6 1 F 5/44 (2006.01)	A 6 1 F 5/44 H
A 6 1 F 13/00 (2006.01)	A 6 1 F 13/00 3 5 1 Z

請求項の数 2 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2000-357938 (P2000-357938)	(73) 特許権者	000115108
(22) 出願日	平成12年11月24日(2000.11.24)		ユニ・チャーム株式会社
(65) 公開番号	特開2002-159527 (P2002-159527A)		愛媛県四国中央市金生町下分182番地
(43) 公開日	平成14年6月4日(2002.6.4)	(74) 代理人	100066267
審査請求日	平成15年8月12日(2003.8.12)		弁理士 白浜 吉治
		(72) 発明者	篠原 淳二
			香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内
		(72) 発明者	合田 英史
			香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 使い捨て着用物品

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

透液性表面シートに覆われた吸液性コアと、前胴周り域および後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを有する不透液性ベースシートとから構成され、前記股下域の両側を横方向内方へ向かって凹欠する一対の脚周対向側部に伸縮性の脚周り弾性部材が伸長状態で取り付けられ、前記脚周り弾性部材が、前記対向側部の前端近傍から前後方向後方へ向かって実質的に弧を描く第1弾性部材と、前記対向側部の後端近傍から前後方向前方へ向かって実質的に弧を描く第2弾性部材と、前記対向側部に配置されて前記第1および第2弾性部材の間を前後方向へ延びる第3弾性部材とから形成された使い捨て着用物品において、

前記吸液性コアが前記ベースシートの前記股下域内に配置され、

前記第1弾性部材が、前記対向側部の前端近傍に延びる第1両側部分と、前記コアの前端部を横切る第1中央部分とを有し、前記第2弾性部材が、前記対向側部の後端近傍に延びる第2両側部分と、前記第1中央部分から前後方向後方へ所与寸法離間して前記コアの後端部を横切る第2中央部分とを有し、前記第3弾性部材が、前記対向側部に沿って横方向内方へ向かって弧を描き、前記第1両側部分と前記第1中央部分との分岐部近傍から該第1両側部分に合流して延びる第1連結部分と、前記第2両側部分と前記第2中央部分との分岐部近傍から該第2両側部分に合流して延びる第2連結部分とを有することを特徴とする前記物品。

【請求項2】

前記物品では、前記第1および第2両側部分と前記第1および第2連結部分とが相互に延びる領域の伸長応力が、前記領域を除く前記第1～第3弾性部材が延びる残余領域のそれよりも高い請求項1記載の物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、排泄物を吸収、保持する使い捨て着用物品に関する。

【0002】

【従来の技術】

特開平8-24291号公報は、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前後方向に前胴周り域および後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前後胴周り域の両側縁部が連結されて胴周り開口と一对の脚周り開口とが画成されたパンツ型の使い捨ておむつを開示している。

10

【0003】

このおむつには、股下域の両側に横方向内方へ向かって凹欠する一对の脚周り対向側部が形成されている。対向側部は、脚周り開口の縁部を画成する。このおむつには、対向側部の前端から前後方向後方へ向かって弧を画く第1弾性部材が伸長状態に取り付けられ、対向側部の後端から前後方向前方へ向かって弧を画く第2弾性部材が伸長状態に取り付けられている。第1および第2弾性部材は、対向側部の前後端近傍に延びる両側部分と、前後方向へ離間して股下域を横切る中央部分とを有する。第1および第2弾性部材の間には、対向側部を前後方向へ延びる第3弾性部材が伸長状態に取り付けられている。第3弾性部材は、第1弾性部材の中央部分と第2弾性部材の中央部分とに交差している。

20

【0004】

このおむつでは、それら弾性部材がひとつながりになって脚周り開口の縁部に延びるので、第1および第2弾性部材が股下域において前後方向へ離間していても、第1～第3弾性部材によって着用者の脚部全周を締め付けることができ、股下域からの排泄物の漏れを防ぐことができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

同号公報に開示のおむつでは、股下域において横方向へ離間する第3弾性部材が対向側部を前後方向へ直状に延びているので、おむつを着用したときに、第3弾性部材が着用者の脚部を取り巻くように、脚部の周り方向へ延びることはない。このおむつでは、第3弾性部材の伸長応力が脚部の周り方向へ作用することはないので、脚部の締め付けに第3弾性部材の伸長応力を十分に利用しているとはいえない。

30

【0006】

また、前記対向側部では、前記両側部分と前記中央部分との分岐部近傍から前後端近傍へ至る領域が着用者の肌と離間し易く、そこを脚部に密着させることが必要であるが、このおむつでは、その手段を何等教示していない。

【0007】

本発明の課題は、第3弾性部材の伸長応力を十分に利用して着用者の脚部を締め付け、対向側部の前記領域を脚部に密着させることができる使い捨て着用物品を提供することにある。

40

【0008】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために、本発明が前提とするところは、透液性表面シートに覆われた吸液性コアと、前胴周り域および後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを有する不透液性ベースシートとから構成され、前記股下域の両側を横方向内方へ向かって凹欠する一对の脚周り対向側部に伸縮性の脚周り弾性部材が伸長状態に取り付けられ、前記脚周り弾性部材が、前記対向側部の前端近傍から前後方向後方へ向かって実質的に弧を画く第1弾性部材と、前記対向側部の後端近傍から前後方向前方へ向かって実質的に弧

50

を画く第2弾性部材と、前記対向側部に配置されて前記第1および第2弾性部材の間を前後方向へ延びる第3弾性部材とから形成された使い捨て着用物品である。

【0009】

かかる前提において、本発明の特徴は、前記吸液性コアが前記ベースシートの前記股下域内に配置され、前記第1弾性部材が、前記対向側部の前端近傍に延びる第1両側部分と、前記コアの前端部を横切る第1中央部分とを有し、前記第2弾性部材が、前記対向側部の後端近傍に延びる第2両側部分と、前記第1中央部分から前後方向後方へ所与寸法離間して前記コアの後端部を横切る第2中央部分とを有し、前記第3弾性部材が、前記対向側部に沿って横方向内方へ向かって弧を描き、前記第1両側部分と前記第1中央部分との分岐部近傍から該第1両側部分に合流して延びる第1連結部分と、前記第2両側部分と前記第2中央部分との分岐部近傍から該第2両側部分に合流して延びる第2連結部分とを有するにある。

10

【0010】

本発明の実施の態様の一例として、前記物品では、前記第1および第2両側部分と前記第1および第2連結部分とが相互に延びる領域の伸長応力が、前記領域を除く前記第1～第3弾性部材が延びる残余領域のそれよりも高い。

【0011】

【0012】

【0013】

【発明の実施の形態】

20

添付の図面を参照し、本発明にかかる使い捨て着用物品の詳細をパンツ型の使い捨ておむつと開放型の使い捨ておむつとを例として説明すると、以下のとおりである。

【0014】

図1、2は、パンツ型に成形する以前の状態で示すおむつ1Aの部分破断平面図と、図1の状態からパンツ型に成形したおむつ1Aの部分破断斜視図とであり、図3、4は、図1のA-A線端面図と、パネルPの中間部P2を省略して示す図1のB-B線端面図とである。図1では、横方向を矢印Xで示し、前後方向を矢印Yで示す。図2では、胴周り方向を矢印Xで示し、脚周り方向を矢印Yで示す。なお、表裏面シート2、3や防漏シート5における内面とは、コア4に対向する面をいい、それらシート2、3、5の外面とは、コア4に非対向の面をいう。

30

【0015】

おむつ1Aは、吸液性パネルPと、疎水性繊維不織布3aにプラスチックフィルム3bを固着した複合シートからなる不透液性ベースシート3とを主要な構成部材とする。

【0016】

おむつ1Aは、前後方向に前胴周り域30および後胴周り域32と、それら胴周り域30、32に位置する股下域31とを有する。おむつ1Aは、前後胴周り域30、32を横方向へ延びる両端部6と、前後胴周り域30、32を前後方向へ延びる両側部7、8とを有する。おむつ1Aでは、砂時計型を呈する裏面シート3が前後胴周り域30、32と股下域31とを画成し、パネルPが股下域31における裏面シート3の内面に取り付けられて前後方向へ延びている。

40

【0017】

パネルPは、透液性表面シート2と、不透液性防漏シート5と、表面シート2と防漏シート5との間に介在し、それらシート2、5に接合された吸液性コア4とから形成されている。

【0018】

パネルPは、ベースシート3よりも小さい砂時計型を呈し、前部P1および後部P3と前後部P1、P3の間に位置する中間部P2とを有し、股下域31の範囲内に位置している。パネルPでは、前後方向へ延びる両側縁部9がおむつ1Aの横方向内方へ向かって弧を描いている。パネルPは、防漏シート5を介してベースシート3の不織布3aに固着されている。

50

【0019】

表面シート2と防漏シート5とは、その周縁部がコア4の周縁から周方向外方へわずかに延び、それらシート2、5の周縁部が互いに重なり合った状態で固着されている。

【0020】

股下域31の両側には、横方向内方へ向かって凹欠する一对の脚周対向側部10が形成されている。股下域31には、弾性的な伸縮性を有する複数条の第1および第2弾性部材11、12と第3弾性部材13とが伸長状態で取り付けられている。前後胴周り域30、32には、弾性的な伸縮性を有する複数条の胴周り用弾性部材14と補助弾性部材15とが伸長状態で取り付けられている。

【0021】

第1弾性部材11は、前胴周り域30の側に位置する対向側部10の前端10aから前後方向後方へ向かって実質的に弧を描いて延びている。第1弾性部材11は、対向側部10の前端10a近傍を対向側部10に沿って延びる両側部分11aと、パネルPの前部P1（コアの前端部）を横切る中央部分11bとを有する。

【0022】

第2弾性部材12は、後胴周り域32の側に位置する対向側部10の後端10bから前後方向前方へ向かって実質的に弧を描いて延びている。第2弾性部材12は、対向側部10の後端10b近傍を対向側部10に沿って延びる両側部分12aと、第1弾性部材11の中央部分11bから前後方向後方へ所与寸法離間してパネルPの後部P3（コアの後端部）を横切る中央部分12bとを有する。

【0023】

胴周り用弾性部材14は、両端部6を横方向へ延びている。補助弾性部材15は、第1および第2弾性部材11、12と胴周り用弾性部材14との間を横方向へ延びている。それら弾性部材11、12、13、14、15は、裏面シート3を形成する不織布3aとプラスチックフィルム3bとの間に介在し、それらに固着されている。

【0024】

第3弾性部材13は、パネルPの両側縁部10に取り付けられて前後方向へ延び、おむつ1Aの横方向内方へ向かって弧を描いている。第3弾性部材13は、パネルPの前部P1に延びる連結部分13aと、パネルPの後部P3に延びる連結部分13bとを有する。第3弾性部材13は、表面シート2と防漏シート5との間に介在し、それらシート2、5の内面に固着されている。

【0025】

連結部分13aは、第1弾性部材11の両側部分11aと中央部分11bとの分岐部16から両側部分11aに重なり、両側部分11aとともに対向側部10の前端10aへ向かって延びている。連結部分13bは、第2弾性部材12の両側部分12aと中央部分12bとの分岐部17から両側部分12aに重なり、両側部分12aとともに対向側部10の後端10bへ向かって延びている。

【0026】

おむつ1Aでは、それら連結部分13a、13bが両側部分11a、12aに重なることで、第1および第2弾性部材11、12と第3弾性部材13とが対向側部10において実質的に合流する。おむつ1Aには、対向側部10にそれら弾性部材11、12、13が相互に延びる領域18、19が形成されている。

【0027】

おむつ1Aは、図2に示すように、前後胴周り域30、32に延びる両側部7、8が間欠的に並ぶ接合部20を介して固着され、パンツ型に成形される。パンツ型に成形されたおむつ1Aには、胴周り開口21と一对の脚周り開口22とが画成されている。おむつ1Aでは、両端部6が胴周り開口21の縁部を形成し、対向側部10が脚周り開口22の縁部を形成する。

【0028】

第1および第2弾性部材11、12の両側部分11a、12aと第3弾性部材13とは

10

20

30

40

50

、脚周り開口 2 1 の縁部を脚周り方向へ延びている。胴周り用弾性部材 1 4 は、胴周り開口 2 1 の縁部を胴周り方向へ延びている。補助弾性部材 1 5 は、前後胴周り域 3 0、3 2 を胴周り方向へ延びている。おむつ 1 A では、それら弾性部材 1 1、1 2、1 3、1 4、1 5 が収縮し、それら開口 2 1、2 2 の縁部と前後胴周り域 3 0、3 2 とに多数のギャザーが形成されている。

【0029】

おむつ 1 A では、領域 1 7、1 8 において両側部分 1 1 a、1 2 a と連結部分 1 3 a、1 3 b とが相互に延びているので、領域 1 7、1 8 の伸長応力が第 1 ～第 3 弾性部材 1 1、1 2、1 3 が延びる残余領域のそれよりも高い。おむつ 1 A では、領域 1 7、1 8 が着用者の脚部を強く締め付け、対向側部 1 0 を領域 1 7、1 8 において脚部に密着させることができる。

10

【0030】

図 5、6 は、開放型のおむつ 1 B の部分破断平面図と、前後胴周り域 3 0、3 2 を連結した着用状態で示すおむつ 1 B の部分破断斜視図とであり、図 7、8 は、図 5 の C-C 線端面図と、コア 4 の中間部 4 b を省略して示す図 5 の D-D 線端面図とである。図 5 では、横方向を矢印 X で示し、前後方向を矢印 Y で示す。図 6 では、胴周り方向を矢印 X で示し、脚周り方向を矢印 Y で示す。

【0031】

おむつ 1 B は、透液性表面シート 2 と、疎水性繊維不織布 3 a にプラスチックフィルム 3 b を固着した不透液性ベースシート 3 と、全体がティッシュペーパー（図示せず）に被覆、接合された吸液性コア 4 とを主要な構成部材とする。

20

【0032】

コア 4 は、股下域 3 1 に配置されて前後方向へ延び、前部 4 a および後部 4 c と前後部 4 a、4 c の間に位置する中間部 4 b とを有する。コア 4 は、表面シート 2 とベースシート 3 との間に介在し、ティッシュペーパーを介してそれらシート 2、3 の内面に接合されている。

【0033】

股下域 3 1 の両側には、横方向内方へ向かって凹欠する一対の脚周り対向側部 1 0 が形成されている。股下域 3 1 には、対向側部 1 0 の前端 1 0 a から前後方向後方へ向かって実質的に弧を画く第 1 弾性部材 1 1 と、対向側部 1 0 の後端 1 0 b から前後方向前方へ向かって実質的に弧を画く第 2 弾性部材 1 2 とが伸長状態で取り付けられている。股下域 3 1 には、第 1 および第 2 弾性部材 1 1、1 2 の間を前後方向へ延びる第 3 弾性部材 1 3 が伸長状態で取り付けられている。

30

【0034】

第 1 および第 2 弾性部材 1 1、1 2 は、対向側部 1 0 の前後端 1 0 a、1 0 b 近傍を対向側部 1 0 に沿って延びる両側部分 1 1 a、1 2 a と、前後方向へ互いに所与寸法離間してコア 4 の前後部 4 a、4 c を横切る中央部分 1 1 b、1 2 b とを有する。

【0035】

第 3 弾性部材 1 3 は、対向側部 1 0 に沿っておむつ 1 B の横方向内方へ向かって弧を画いている。第 3 弾性部材 1 3 は、第 1 弾性部材 1 1 の両側部分 1 1 a と中央部分 1 1 b との分岐部 1 6 から両側部分 1 1 a に合流する連結部分 1 3 a と、第 2 弾性部材 1 2 の両側部分 1 2 a と中央部分 1 2 b との分岐部 1 7 から両側部分 1 2 a に合流する連結部分 1 3 b とを有する。連結部分 1 3 a は、両側部分 1 1 a とともに対向側部 1 0 の前端 1 0 a ままで延びている。連結部分 1 3 b は、両側部分 1 2 a とともに対向側部 1 0 の後端 1 0 b ままで延びている。

40

【0036】

後胴周り域 3 2 の端部 6 には、帯状の胴周り用弾性部材 1 4 が伸長状態で取り付けられている。それら弾性部材 1 1、1 2、1 3、1 4 は、不織布 3 a とプラスチックフィルム 3 b との間に介在し、それらに固着されている。

【0037】

50

後胴周り域 3 2 の両側部 8 には、横方向内方へ延びるテープファスナ 2 3 が取り付けられている。テープファスナ 2 3 は、その基端部が不織布 3 a とプラスチックフィルム 3 b との間に介在し、それらに固着されている。テープファスナ 2 3 の自由端部には、粘着剤（図示せず）が塗布されている。

【0038】

前胴周り域 3 0 における裏面シート 3 の外面には、プラスチックシートからなる矩形のターゲットテープ 2 4 が取り付けられている。ターゲットテープ 2 4 は、テープファスナ 2 3 に対する止着域となる。

【0039】

このおむつ 1 B を着用するには、後胴周り域 3 2 の両側部 8 を前胴周り域 3 0 の両側部 7 の外側に重ね合わせ、粘着剤を介してテープファスナ 2 3 の自由端部をターゲットテープ 2 4 に止着し、前胴周り域 3 0 と後胴周り域 3 2 とを連結する。前後胴周り域 3 0, 3 2 が連結されたおむつ 1 B には、図 5 に示すように、胴周り開口 2 1 と一対の脚周り開口 2 2 とが画成されている。

【0040】

おむつ 1 B の対向側部 1 0 には、両側部分 1 1 a, 1 2 a と連結部分 1 3 a, 1 3 b とが相互に延びる領域 1 8, 1 9 が形成されている。おむつ 1 B では、領域 1 8, 1 9 の伸長応力が前記第 1 ～第 3 弾性部材 1 1, 1 2, 1 3 が延びる残余領域のそれよりも高く、対向側部 1 0 を領域 1 8, 1 9 において着用者の脚部に密着させることができる。

【0041】

それら図示例のおむつ 1 A, 1 B では、第 3 弾性部材 1 3 が対向側部 1 0 に沿っておむつ 1 A, 1 B の横方向内方へ弧を描いて延びているので、第 3 弾性部材 1 3 が着用者の脚部を取り巻くように、脚部の周り方向へ延びる。おむつ 1 A, 1 B では、第 3 弾性部材 1 3 の伸長応力が脚部の周り方向へ作用し、第 3 弾性部材 1 3 の伸長応力を十分に利用して脚部を締め付けることができる。

【0042】

それらおむつ 1 A, 1 B では、第 1 および第 2 弾性部材 1 1, 1 2 と第 3 弾性部材 1 3 とがひとつながりになって着用者の脚部を囲繞し、それら弾性部材 1 1, 1 2, 1 3 が着用者の脚部全周を締め付けるので、第 1 および第 2 弾性部材 1 1, 1 2 が股下域 3 1 において前後方向へ離間していても、股下域 3 1 からの排泄物の漏れを防ぐことができる。

【0043】

また、おむつ 1 A, 1 B では、第 1 および第 2 弾性部材 1 1, 1 2 の中央部分 1 1 b, 1 2 b が収縮し、その収縮によってパネル P の前後部 P 1, P 3 またはコア 4 の前後部 4 a, 4 c が着用者の肌に押し付けられるので、それらの前後部 P 1, P 3, 4 a, 4 b を着用者の肌に密着させることができる。

【0044】

表面シート 2 には、親水性繊維不織布、または、開孔プラスチックフィルムを使用することができる。裏面シート 3 には、疎水性繊維不織布 3 a にプラスチックフィルム 3 b を固着した複合シートの他に、疎水性繊維不織布、不透液性のプラスチックフィルム、疎水性繊維不織布を重ね合わせた 2 層の不織布、のいずれかを使用することができる。防漏シート 5 には、疎水性繊維不織布、または、不透液性のプラスチックフィルムを使用することができる。

【0045】

ベースシート 3 と防漏シート 5 とには、高い耐水性を有するメルトブローン法による不織布を、高い強度を有しかつ柔軟性に富んだスパンボンド法による不織布で挟んだ複合不織布を使用することもできる。

【0046】

不織布としては、スパンレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、スパンボンド、ケミカルボンド、エアスルー、の各製法により製造されたものを使用することができる。不織布の構成繊維としては、ポリオレフィン系、ポリエステル系、ポリ

10

20

30

40

50

アミド系、の各繊維、ポリエチレン／ポリプロピレンまたはポリエチレン／ポリエステルからなる芯鞘型複合繊維またはサイドバイサイド型複合繊維を使用することができる。

【0047】

コア4は、粉碎パルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物、または、粉碎パルプと高吸収性ポリマー粒子と熱可塑性合成樹脂繊維との混合物であり、所要の厚みに圧縮されている。ポリマー粒子としては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系のものを使用することができる。第1および第2弾性部材11、12や第3弾性部材13、胴周り用弾性部材14、補助弾性部材15には、合成ゴムや天然ゴム等のエラストマーを使用することができる。

【0048】

10

シート2、3、5の固着、コア4の接合、弾性部材11、12、13、14、15の取り付けには、ホットメルト系接着剤、または、ヒートシールやソニックシール等の熱による溶着手段を使用することができる。

【0049】

この発明は、使い捨ておむつ1A、1Bの他に、幼児のおむつ離れを促進するためのトレーニングパンツ、内面に吸液性パッドを着脱可能に装着するおむつカバーにも実施することができる。

【0050】

【発明の効果】

本発明にかかる使い捨て着用物品によれば、第3弾性部材が対向側部に沿って物品の横方向内方へ弧を描いて延びているので、物品を着用したときに、第3弾性部材が着用者の脚部を取り巻くように脚部の周り方向へ延びる。物品では、第3弾性部材の伸長応力が脚部の周り方向へ作用し、第3弾性部材の伸長応力を十分に利用して脚部を締め付け、対向側部を着用者の脚周りに密着させることができる。

20

【0051】

物品では、第1および第2弾性部材の両側部分に第3弾性部材の連結部分が合流し、それら弾性部材が相互に延びる領域の伸長応力が、それら弾性部材が延びる残余領域のそれよりも高いので、領域において着用者の脚部を強く締め付けることができる。物品では、第1および第2弾性部材の両側部分と中央部分との分岐部近傍から対向側部の前後端近傍へ至る領域において、対向側部を着用者の脚部に密着させることができる。

30

【図面の簡単な説明】

【図1】 パンツ型に成形する以前の状態で示すおむつの部分破断平面図。

【図2】 図1の状態からパンツ型に成形したおむつの部分破断斜視図。

【図3】 図1のA-A線断面図。

【図4】 パネルの中間部を省略して示す図1のB-B線端面図。

【図5】 開放型のおむつの部分破断平面図。

【図6】 前後胴周り域を連結した着用状態で示すおむつの部分破断斜視図。

【図7】 図5のC-C線端面図。

【図8】 コアの中間部を省略して示す図5のD-D線端面図。

【符号の説明】

40

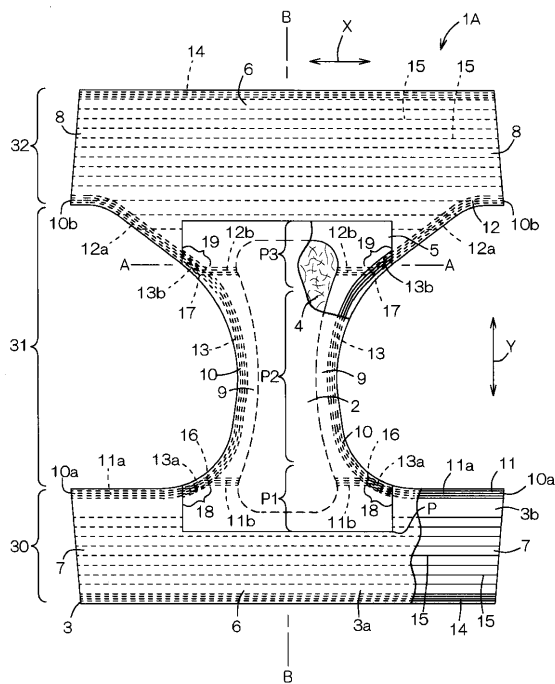
- 1 A パンツ型の使い捨ておむつ（使い捨て着用物品）
- 1 B 開放型の使い捨ておむつ（使い捨て着用物品）
- 2 透液性表面シート
- 3 不透液性ベースシート
- 4 吸液性コア
- 5 不透液性防漏シート
- 9 両側縁部
- 10 対向側部
- 10 a 前端
- 10 b 後端

50

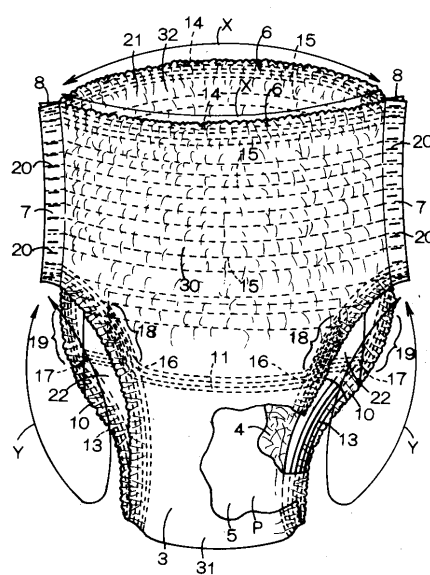
- 1 1 第1弾性部材
- 1 1 a 両側部分(第1両側部分)
- 1 1 b 中央部分(第1中央部分)
- 1 2 第2弾性部材
- 1 2 a 両側部分(第2両側部分)
- 1 2 b 中央部分(第2中央部分)
- 1 3 第3弾性部材
- 1 3 a 連結部分(第1連結部分)
- 1 3 b 連結部分(第2連結部分)
- 1 6 分岐部
- 1 7 分岐部
- 1 8 領域
- 1 9 領域
- 3 0 前胴周り域
- 3 1 股下域
- 3 2 後胴周り域
- P 吸液性パネル

10

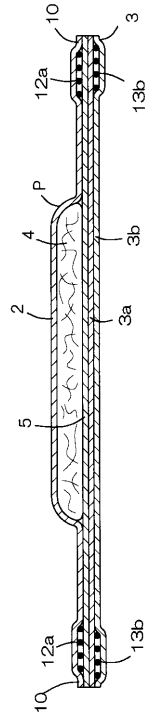
【図1】



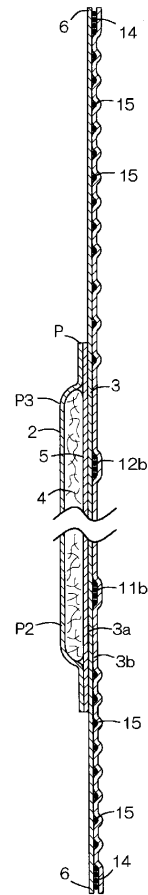
【図2】



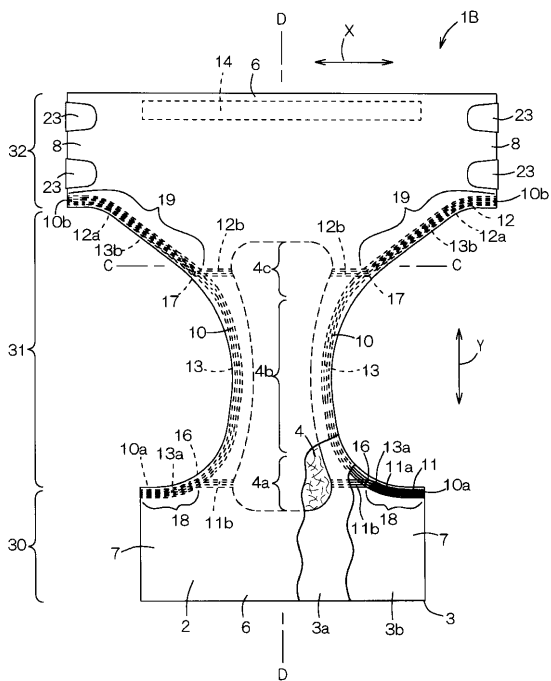
【図 3】



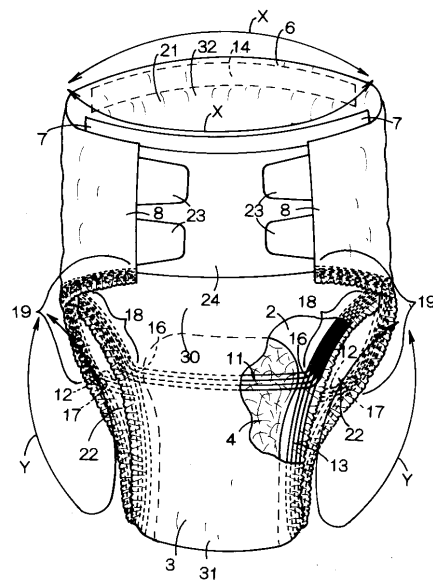
【図 4】



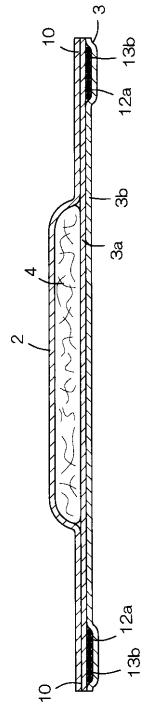
【図 5】



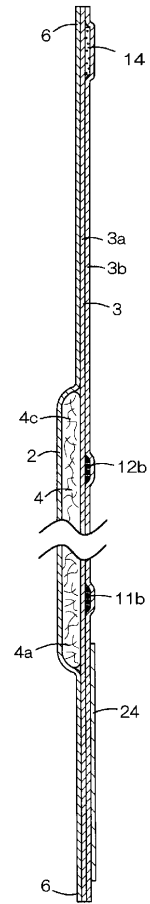
【図 6】



【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(72)発明者 向井 敬智

香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内

審査官 島田 信一

(56)参考文献 特開平07-299094 (JP, A)

特開平09-313531 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A61F 13/15

A61F 5/44

A61F 13/00

A61F 13/49